

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [追手門学院大手前中学校] 担当教諭名 [福田 哲也] (2年4組 24名)

交流相手国 [アメリカ]

海外学校名 [Scales Mound Community Unit District #211] 担当教諭名 [Karen Kelly]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイルプロジェクト	10
	放課後	アートマイルプロジェクト	17
	英語	アートマイルプロジェクト	3

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	文化「Culture」
絵に込めたメッセージ	日米の文化を紹介。地域の代表的な文化財や食文化、ファッション、自然などについて壁画に表現した。また、中心の地球は、国際交流・世界平和をイメージした。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
クラス生徒が制作したため、決して絵画の出来は満足できるものではないが、テーマについて考え、製作する過程で、生徒たちの成長が見られた。また、国際交流に対する意識も大きく変化した。また、クラス活動に消極的であった生徒が熱心に取り組むようになり教育的効果は大きいと感じた。	学年 4 クラス内の 1 クラスの取り組みであったため、一部の教師による取り組みに留まった。また、壁画制作については、クラス全員で一斉に取り組むことができず、放課後、積極的な生徒が中心に取り組む形にせざるをえなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
国際交流の意義や重要性について、身をもって体験することができた。TV 会議を行ったり、お菓子交換をしたりする中で、グローバルな視野が少しずつ身についたと感じるようになった。	本取り組みを通して、コーディネート力の必要性を感じた。そのような点で、本活動は、教師の教育力の向上にも直結すると感じた。しかしながら、一部の教員で行ったため教員全体の意識の変革には繋がらなかった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	7月	手紙による自己紹介	アメリカの生徒に向けて自己紹介の手紙を書いた。このときは、アメリカ校との交流のイメージが湧かなかった生徒も相手校の手紙を読むことによって、取り組む意欲に繋がった。	英語
テーマ学習	9月	テーマの原案の思考	クラスで個々にデザインのアイデアを募集し、その中から日本側のデザインの原案をつくった。	総合
構図決定	10月	テーマおよび構図の決定 TV会議(テーマ・構図)	フォーラムを通して、日本側の原案を提示し、デザインを練った。10月にTV会議を行い、最終的なデザインを決定した。	総合
壁画制作	11月	壁画の制作 お菓子交換(12月) TV会議(デザイン・お菓子)	大人数では、かえって制作が難しいので、放課後を利用し、制作した。また、制作後もお菓子交換をしたりTV会議を行ったりして交流を深めた。	放課後等
鑑賞・振り返り	3月	本校紹介ビデオ制作 鑑賞・振り返り	相手校から送られてきた壁画を鑑賞。修了式で全校生徒に披露した。	総合

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入(A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	日本・大阪の文化を紹介するにあたり、何を表現するか活発な議論の末に決定した。
異文化の理解	A	4	相手校や相手校の地域を学習中で、アメリカやアメリカの教育に興味をもつ生徒がでてきた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	TV会議の原稿など、自ら作成し、必死に話す場面を垣間見ることができた。英語に対する興味高まった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	デザインの決定において活発な議論になった。また、TV会議の実施や本校の学校紹介ビデオ作成など発信にも繋がった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4	本活動を通してクラス内の協力関係も強くなった。相手校との交流をより深くなるような手立てが必要であった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	今まで学級活動に消極的な生徒も、本活動に対して積極的に取り組んだ。
学習を追究する意欲	B	4	本活動を通して、学校で行う学習が、たんに教室のものではないという認識が芽生えた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	4	クラス生徒の制作ゆえに、得意な生徒も苦手な生徒も協同で行ったために出来は良くないが、教育的価値のあるものになった。
作品を鑑賞する力	B	3	3月上旬の完成ゆえに、最後の振り返りや鑑賞に十分な時間がとれなかった。